

朝来市景況調査書

令和2年 下半期

(調査対象：令和2年7月～9月)

朝来市商工会

令和2年12月

【目次】

I. 景況調査.....	2
1. 景況調査について.....	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）.....	3
3. 業種ごとの集計.....	4
①建設業（有効調査書数：39件）.....	4
②製造業（有効調査書数：64件）.....	6
③小売業（有効調査書数：81件）.....	8
④サービス業（有効調査書数：120件）.....	10
II. 需要動向調査.....	15
1. 需要動向調査について.....	15
①建設業.....	15
②製造業.....	17
③小売業.....	19
④サービス業.....	21
（参考文献）.....	23

I. 景況調査

1. 景況調査について

○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げることを目的とします。

○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報を比較して調査書を作成します。

○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、
「良い」20% - 「悪い」30% = ▲10%
となり、D. I. 値は▲10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

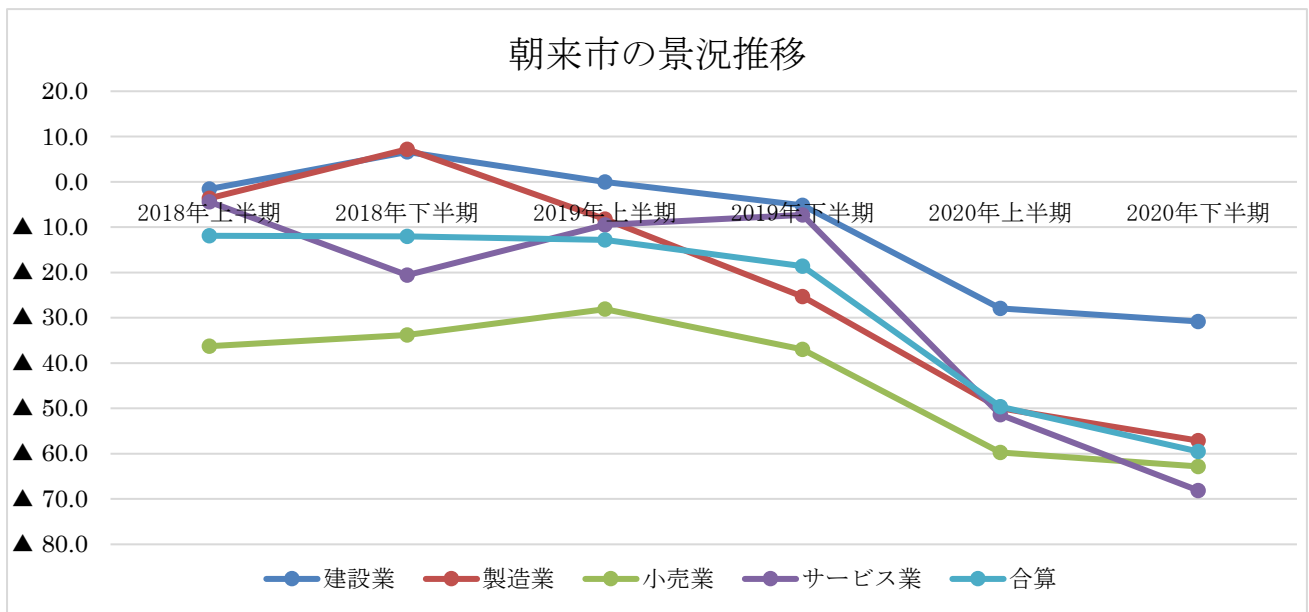
(対象期間(R2. 7~9 月)における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	199 件	372 件	77 件	103 件
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	96 件	91 件	77 件	160 件
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	39 件	64 件	81 件	120 件

○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて、飲食・宿泊業等は「サービス業」とあわせて集計しています。

2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）



	2018年 上半期 (H30.1~3月)	2018年 下半期 (H30.7~9月)	2019年 上半期 (H31.1~3月)	2019年 下半期 (R1.7~9月)	2020年 上半期 (R2.1~3月)	2020年 下半期 (R2.7~9月)
建設業	▲ 1.6 (64件)	6.6 (61件)	0.0 (51件)	▲ 5.2 (58件)	▲ 27.9 (48件)	▲ 30.8 (39件)
製造業	▲ 3.6 (55件)	7.2 (69件)	▲ 8.2 (61件)	▲ 25.3 (79件)	▲ 50.0 (53件)	▲ 57.1 (64件)
小売業	▲ 36.3 (80件)	▲ 33.8 (71件)	▲ 28.1 (89件)	▲ 37.0 (81件)	▲ 59.7 (78件)	▲ 62.8 (81件)
サービス業	▲ 4.4 (113件)	▲ 20.6 (107件)	▲ 9.5 (126件)	▲ 7.3 (110件)	▲ 51.4 (125件)	▲ 68.1 (120件)
合算	▲ 11.9 (312件)	▲ 12.0 (308件)	▲ 12.8 (308件)	▲ 18.6 (328件)	▲ 49.6 (304件)	▲ 59.5 (304件)

(※回答数 305 件、内 1 件は社名・業種未記入のため計上せず)

直近6回の調査における「業況（自業種の景気動向）」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値はD. I. 値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

前回調査では新型コロナウイルス感染症拡大による経済停滞の影響がほぼ全ての業種に及んでおりましたが、今回の調査時期も依然として収束が見えずさらに低い数値を記録し、かつ過去6回の調査で最も低下した結果となりました。

上記業種の中で D. I. 値が一番低いのはサービス業（飲食業・宿泊業含む）と出ており、前回調査の小売業と逆転しています。緊急事態宣言が明けても、市内の消費動向回復が依然として厳しい状態が続いていると言えます。

3. 業種ごとの集計

①建設業（有効調査書数：39件）

○昨年(7～9月)と比較して、今期の業況はいかがですか？

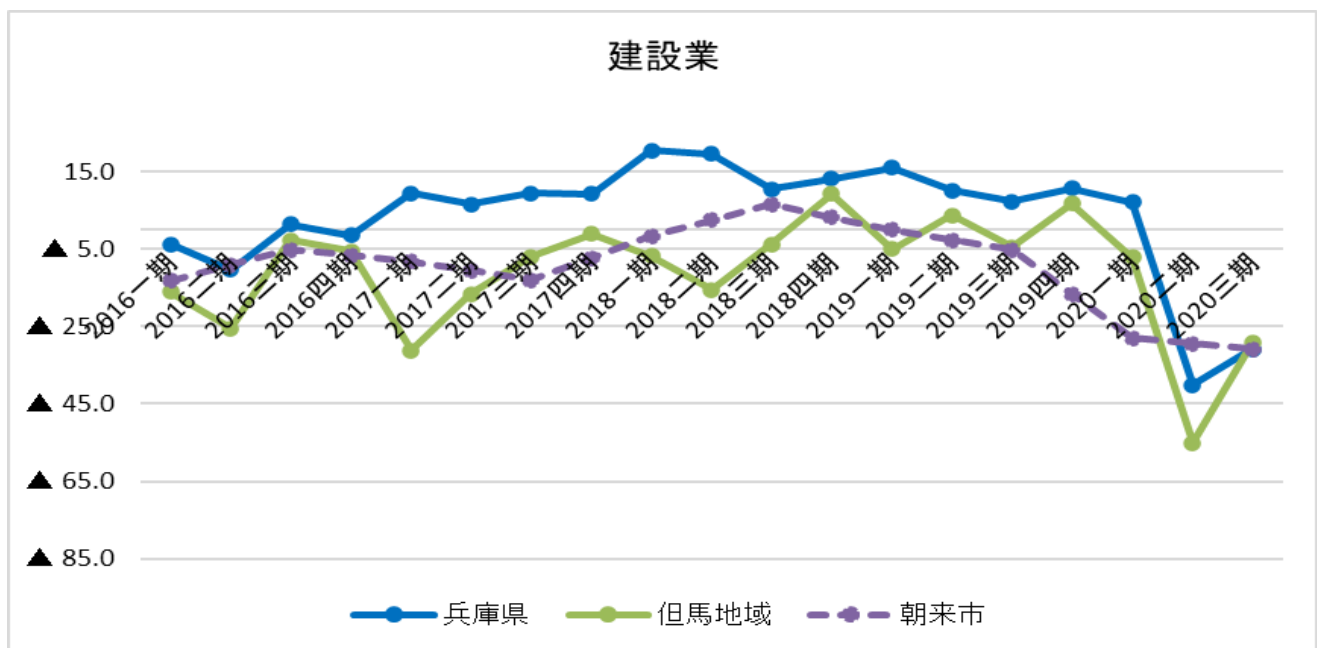
	件数	構成比
好転	4件	10.3%
不変	19件	48.7%
悪化	16件	41.0%

「不変」と回答いただいた事業者が多い状況です。「悪化」と回答した事業者が増加しており、景気判断値は前回を下回る結果となりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲30.8ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲29.2ポイント
朝来市	▲30.8ポイント

兵庫県全域、但馬地域との差は無く、県内における地域差は少ない状況と言えます。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市は二期（4～6月）、四期（10～12月）の調査未実施のため、中間点を計上

他業種と比較すると落差は低くなっておりませんが、減少傾向と出ています。兵庫県全域および但馬地域の 第二期（4月～6月）と第三期（7月～9月）を比較すると回復傾向と出ています。これは春季に材料や設備などの輸入が止まっており、工事も中断していたものが夏季以降に動き出したことが影響していると考えられます。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2019 年上半期	2019 年下半期	2020 年上半期	2020 年下半期
1 位	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難
2 位	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難
3 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	人件費以外の経費の増加

過去 2 年間の調査では「従業員の確保難」「熟練技術者の確保難」が 1 位と 2 位にあがっており、人材不足の解消や技術面の人員、技術の事業承継が課題と言えます。今回新しく「人件費以外の経費の増加」が問題点として挙がっており、工事原価を抑え、利益率の確保が重視する点と考えられます。

○経営状況や今後の方針について（建設業－朝来市）

創業 5 年未満	1 件
売上・事業拡大	18 件
現状維持	21 件
事業承継への取り組み	4 件
廃業を検討	1 件

※複数回答あり

・廃業を検討（1 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	1 件

②製造業（有効調査書数：63件）

○昨年（7～9月）と比較して、今期の業況はいかがですか？（※内1件は未回答）

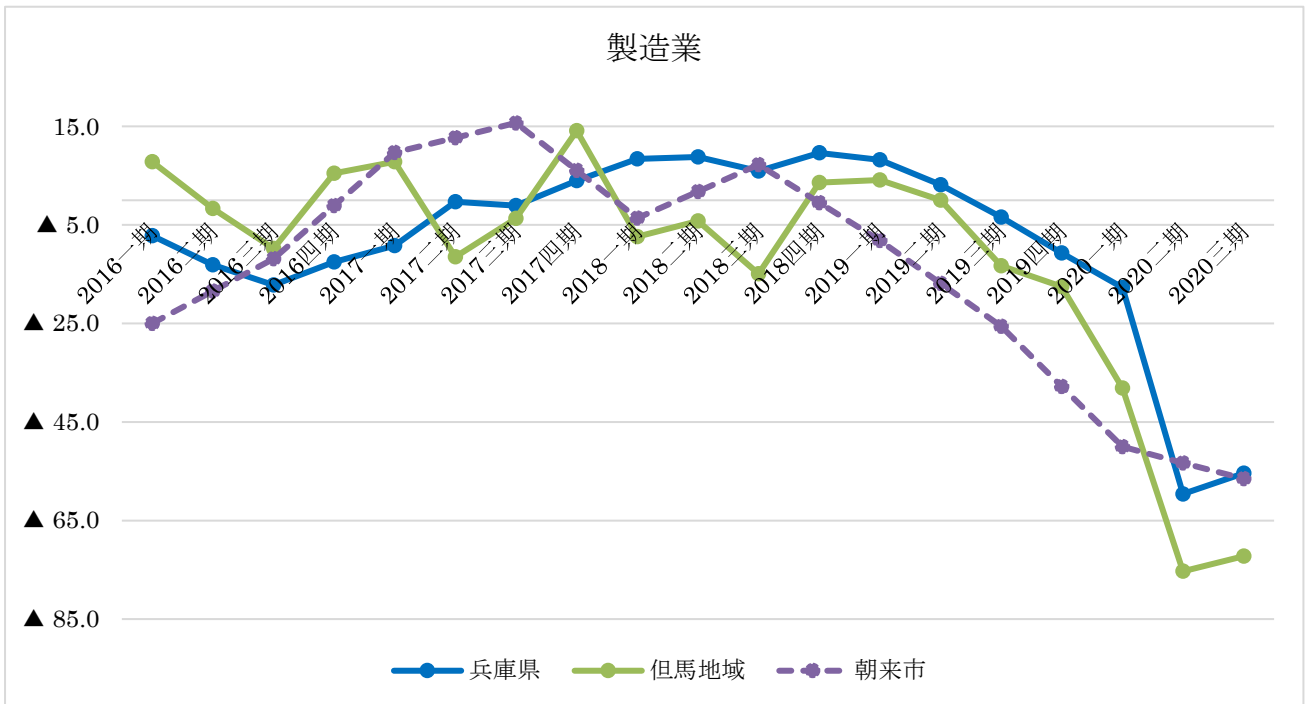
	件数	構成比
好転	10件	15.9%
不変	7件	11.1%
悪化	46件	73.0%

前回調査(R2.1～3)で「悪化」と回答した事業者は6割程でしたが、今回はより増加しており、製造業に関する影響はより厳しくなっていると考えられます。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲55.4ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲72.2ポイント
朝来市	▲57.1ポイント

兵庫県全域、但馬地域ともに厳しい数値が続いており、製造業に関する業況の厳しさは朝来市のみではないことが分かります。

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市は二期（4～6月）、四期（10～12月）の調査未実施のため、中間点を計上

朝来市においては2019年に落ち込みを見せましたが、2020年にコロナ禍に入って以降は急激な減少となりました。2020年第二期（4月～6月）以降は但馬全域が兵庫県・朝来市を下回る結果となっており、感染症の影響は都市部だけでなく地方・朝来市の近隣にも及んでいることが分かります。

○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2019 年上半期	2019 年下半期	2020 年上半期	2020 年下半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	需要の停滞	需要の停滞
2 位	従業員の確保難	従業員の確保難	材料等仕入単価の上昇	人件費以外の経費の増加
3 位	人件費の増加	需要の停滞	人件費以外の経費の増加	材料等仕入単価の上昇

前回調査と同様に「需要の停滞」が第1位として浮上しました。「人件費以外の経費の増加」「材料仕入単価の上昇」「人件費以外の経費の増加」は順位が入れ替わっておりますがほぼ同数の回答であり、状況は前回調査と同様と考えられます。

○経営状況や今後の方針について（製造業－朝来市）

創業5年未満	1 件
売上・事業拡大	30 件
現状維持	33 件
事業承継への取り組み	7 件
廃業を検討	5 件

※複数回答あり

・廃業を検討（5件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	1 件
事業譲渡なども、全く考えていない	4 件

③小売業（有効調査書数：78件）

○昨年（7～9月）と比較して、今期の業況はいかがですか？（※内3件は未回答）

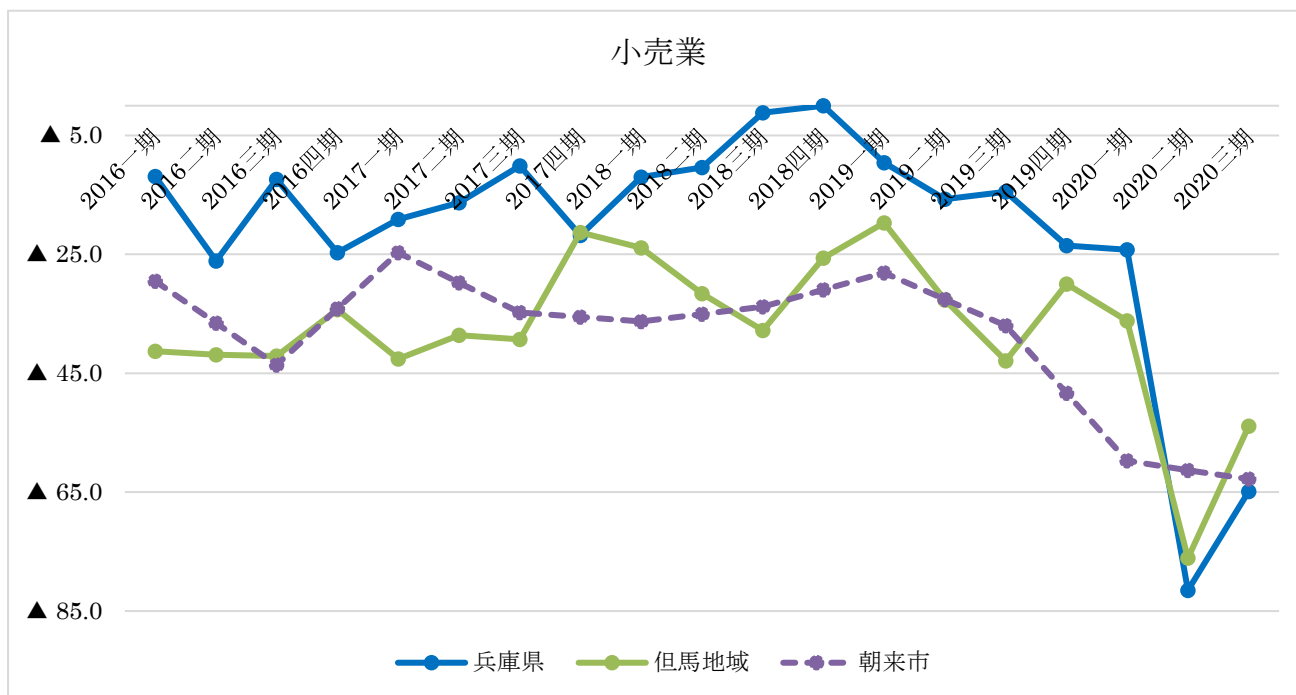
	件数	構成比
好転	4件	5.1%
不変	21件	26.9%
悪化	53件	67.9%

前回調査より若干ですが「悪化」と回答した事業者が増えており、業況は厳しいものが継続していると言えます。

地域	D. I.
兵庫県 （みなと銀行）	▲64.9ポイント
但馬地域 （但馬信用金庫）	▲53.9ポイント
朝来市	▲62.8ポイント

兵庫県全域、朝来市と比較し但馬地域の数字が高くなっております。理由は下記のものと同様と予想されます。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市は二期（4～6月）、四期（10～12月）の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域、但馬地域では2020年二期（4月～6月）に大幅な下落を見せ、今回の調査時期では回復しています。これはGo to トラベル事業により観光地を中心に人が増加し各店舗の売上増加、地域共通クーポンの取扱が影響したと考えられます。一方でGo toの見直しなど、今後は決して楽観視はできない状況です。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2019 上半期	2019 年下半期	2020 年上半期	2020 年下半期
1 位	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応
2 位	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞
3 位	従業員の確保難	従業員の確保難	材料等仕入単価の 上昇	店舗施設の老朽化

今年も「利用者ニーズの変化への対応」が1位となっていますが、「変化の対応」でもコロナ禍の前後では大きく変わっており、消費者が感染症を意識し、非対面・非接触を意識せざるを得なくなっています。また今回調査により「店舗施設の老朽化」が3位となったのは、改装の希望に加え「感染症対策をしないといけない」という目線も含まれると考えられます。

○経営状況や今後の方針について（小売業－朝来市）

創業5年未満	8件
売上・事業拡大	30件
現状維持	33件
事業承継への取り組み	15件
廃業を検討	14件

※複数回答あり

・廃業を検討（14件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	4件
事業譲渡なども、全く考えていない	10件

④サービス業（有効調査書数：116件）

○昨年(7～9月)と比較して、今期の業況はいかがですか？（※内4件は未回答）

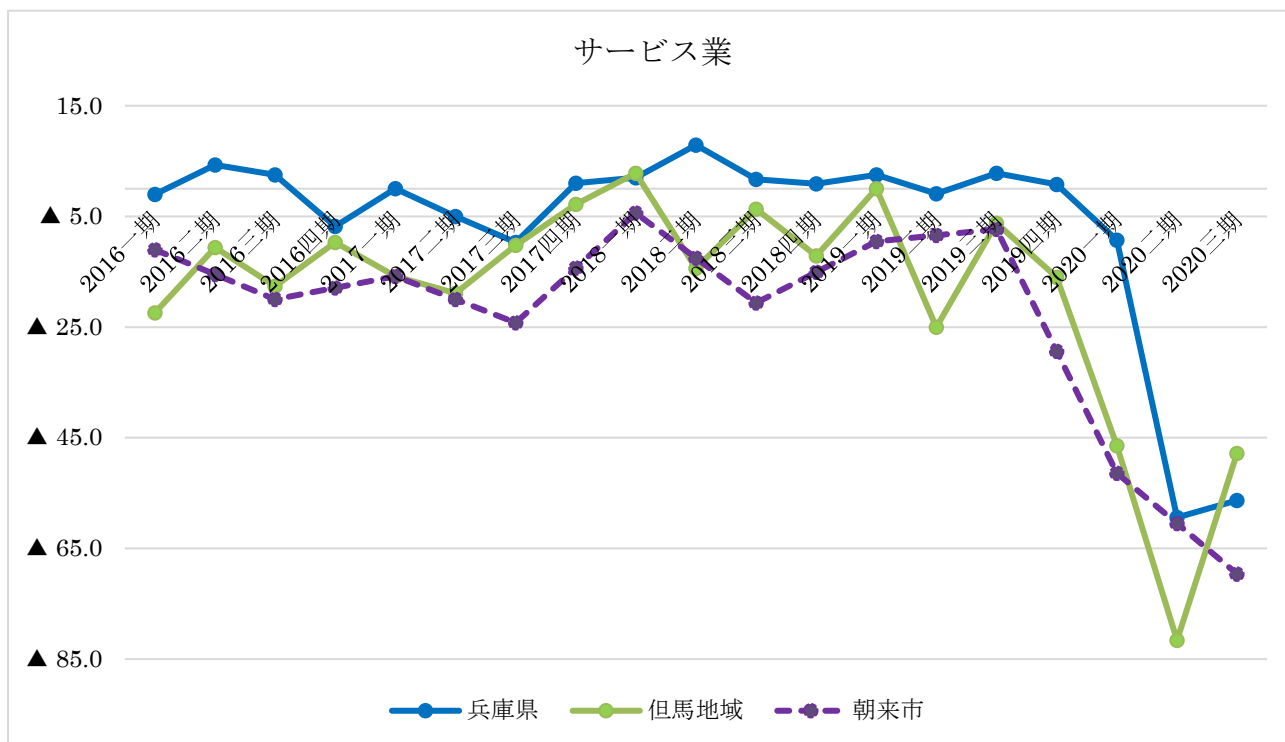
	件数	構成比
好転	10件	8.6%
不変	17件	14.7%
悪化	89件	76.7%

「悪化」と回答した事業者が前回調査より増加しています。今までは小売業が最もD.I.値が低い傾向でしたが、今回調査では逆転しています。

地域	D.I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲56.3ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲47.8ポイント
朝来市	▲68.1ポイント

小売業同様、但馬地域が兵庫県全域、朝来市より結果が良化しています。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市は二期（4～6月）、四期（10～12月）の調査未実施のため、中間点を計上

小売業同様、但馬地域の回復が兵庫県でも最も高くなっており、観光地にGo toトラベル事業により旅行者が増えている影響と考えられます。現在はGo toトラベルの見直しが始まっており、環境や状況に対応したサービスが求められています。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2019 年上半期	2019 年下半期	2020 年上半期	2020 年下半期
1 位	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応
2 位	材料等仕入単価 の上昇	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	需要の停滞
3 位	店舗施設の老朽化	需要の停滞	需要の停滞	店舗施設の老朽化

上位 2 点の「利用者ニーズの変化への対応」「需要の停滞」はコロナ禍において避けられない課題となっており、感染症が収束しないかぎり対応が求められると考えられます。事業者にとって顧客ニーズを意識し、経営や事業内容を見つめ直すことは常に抱える問題ですが、新型コロナウイルス感染症を機にその傾向が加速していると言えます。

○経営状況や今後の方針について（サービス業－朝来市）

創業 5 年未満	22 件
売上・事業拡大	41 件
現状維持	53 件
事業承継への取り組み	15 件
廃業を検討	5 件

※複数回答あり

・廃業を検討（5 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	2 件
事業譲渡なども、全く考えていない	3 件

(参考) 全データの集計

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	0	0	0	3	3
30代	1	6	1	7	15
40代	11	8	10	21	50
50代	9	13	20	30	72
60代	14	20	19	29	82
70代以上	4	17	31	30	82

○事業承継、後継者について教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
まだ考えていない、しばらく必要ない	9	23	32	56	120
後継者は既に決まっている	8	10	15	12	45
後継者はいるが、まだ決まっていない	10	12	13	12	47
候補者が見当たらない	5	9	0	5	19
後継者は必要ない	5	4	9	21	39

○経営状況や今後の方針について教えてください

(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	1	1	8	22	32
売上・事業拡大	18	30	30	41	119
現状維持	21	33	33	53	140
事業承継への取り組み	4	7	15	15	41
廃業検討	1	5	14	5	25

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	0	1	4	2	7
事業譲渡なども、全く考えていない	1	4	10	3	18

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	5	14	33	46	98
1人～5人	17	19	29	44	109
6人～10人	6	6	9	11	32
11人～20人	6	5	1	5	17
21人以上	4	17	2	3	26
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	21	13	6	18	58
適正人数である	10	28	30	42	110
雇い入れが過剰である	0	2	1	3	6
雇用していない・しない	5	16	34	44	99

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	17	21	31	50	119
1人～5人	14	23	28	47	112
6人～10人	0	5	4	8	17
11人～20人	1	4	4	5	14
21人以上	0	5	1	2	8
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	9	11	11	20	51
適正人数である	10	26	23	46	105
雇い入れが過剰である	0	1	0	2	3
雇用していない・しない	12	19	33	38	102

○令和2年7～9月と前年同期(令和元年7～9月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	4	10	4	10	28
	同じ	19	7	21	17	64
	悪化	16	46	53	89	204
売上	増加	8	10	8	12	38
	同じ	13	9	16	13	51
	減少	18	44	53	89	204
販売価格	増加	3	5	3	4	15
	同じ	31	51	49	71	202
	減少	5	7	25	31	68
仕入価格	増加	9	15	16	19	59
	同じ	26	43	42	66	177
	減少	3	5	18	20	46
資金繰り	好転	7	7	2	8	24
	同じ	23	32	42	44	141
	悪化	9	24	32	55	120

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位3つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	3	5	17	7	32
新規参入業者の増加	2	4	6	17	29
利用者ニーズの変化への対応	7	18	39	49	113
店舗施設の老朽化	4	11	20	35	70
人件費の増加	6	11	8	11	36
人件費以外の経費の増加	13	20	14	24	71
利用料金の低下・上昇難	2	1	9	19	31
材料等仕入単価の上昇	7	18	16	21	62
金利負担の増加	2	2	0	4	8
事業資金の借入難	7	4	3	10	24
従業員の確保難	21	14	17	22	74
熟練技術者の確保難	13	11	7	13	44
需要の停滞	8	31	38	43	120
その他	2	7	9	19	37